



2009

6月30日号

115
VOL.

発行所 社団法人 福島県放射線技師会

〒960-8003 福島市森合字蒲原16-7 TEL/FAX 024 (559) 1043

ホームページアドレス <http://fart.jp/>

巻頭言

就任にあたって



会長 鈴木 憲二

平成21年度より片倉前会長の後を引き継ぎ福島県放射線技師会の会長を引き受けることになりました。今年度も福島県放射線技師会が公益性をもった法人として活動していくために公益法人化に向けた定款改定を総会に提出し、会員のご理解を得て賛成多数で可決された。我々放射線技師の行っている業務そのものが当然ながら公益性を持っており、常に放射線技師の質の向上を目的として各種分科会での研修を行っている。また福島県民への公益性のある事業の一つとして福島県原子力防災訓練がある。福島県内には現在10基の原子力発電所があり、原子力事故を想定した訓練（原子力防災訓練）には福島県内の放射線技師が大きな役割を担っており、福島県放射線技師会からも各支部からの協力を得ながら毎年参加している。この原子力防災訓練にあたり、福島県放射線技師会では毎年行われる（財）原子力安全研究協会からの「緊急被ばく医療基礎講座Ⅰ（除染・搬送コース）」「緊急被ばく医療基礎講座Ⅱ（ホールボディカウンターコース）」についても協力を得ているところであるが、まだまだ参加者が少ない状況であり、もっと多くの放射線技師がこの研修会に参加して、緊急時の原子力事故に多くの放射線技師が対応できるように、原子力防災訓練に参加することを特に望みたい。

日本放射線技師会も昨年度より会長が替わり、都道府県放射線技師会に対する考え方が熊谷前会長の時とは全く変わってきており、生涯学習に対するポイントは日本放射線技師会開催と都道府県放射線技師会開催の学術大会及び研修会等への格差は無くなってきた。また今まで行われてきた「放射線機器管理士」「放射線管理士」の講習会受講料は日本放射線技師会開催時と都道府県開催時の受講料を比較すると日本放射線技師会開催時は高額なものとなっていたが、今回から「放射線機器管理士」「放射線管理士」「医用画像情報管理士」の3科目においての受講は無料となった。（申し込みについては日本放射線技師会のホームページより会員ログインして確認。）

昨年、福島県放射線技師会の会員証を発行したが、カード採用の目的がはっきりしないとの話もあるが、県技師会開催の研修会参加者への会員と非会員の格差を設け、日本放射線技師会には社会貢献ポイントへの付与及び県技師会主催の研修会へのポイント付与し、年間を通しての県技師会主催のポイント優良者を総会時に表彰する事とする。

これからの県技師会運営については片倉前会長のような強力な指導力に欠けるかもしれないが、理事一丸となり運営していく所存なので、会員のなご一層のご協力をお願いしたい。

平成21年度総会開く

平成21年度（第61回）福島県放射線技師会総会は、県北支部の担当で去る5月16日（土）、飯坂温泉「あづま荘」で開催された。

14時10分から、学術委員会の各分科会から平成20年度の活動報告がされた後、15時20分から特別講演となり、富士フィルム（株）野口雄司氏から「今後の医療動向について」と題して講演がされた。永年、医療機器工業界の代表委員として診療報酬改定に関わっておられる氏の説明は理解しやすく、しかも後でスライド情報を提供下さるという親切さに皆さん聞き入っていました。

16時40分から始まった総会は、総会運営委員長古川徹君から、会員総数626名中、出席480名（うち委任状423名）であり、定款改定に必要な3分の2以上の出席があることが報告された。

議事に入る前に、永年勤続20年の会員14名の表彰、20年春の叙勲を受章された持館博志氏の名誉会員推戴が行われた。



提案された議案は、原案どおり可決され、これから手続きする新法人定款の制定で新たな段階を迎えた。

役員改選では、定数の範囲内の候補者なので拍手で承認されたが、会長だけは信任投票が必要との定款により投票用紙が配られ、投票の結果全員が信任の投票をされ承認された。（別項掲載）

第61回（平成21年度） （社）福島県放射線技師会総会議事録（抄）

1、開催日時：平成21年5月16日 午後4時40分

1、開催場所：福島市飯坂町 あづま荘

1、会員総数：626名

1、出席者数：480名（うち委任状出席者423名）

総会運営委員長古川徹より、会員総数626名中480名の出席があり、有効に成立する旨の報告があった後、

議長選出に入った。

議長には会員松井大樹及び目黒昭夫が選出され、議長は議事録署名人に会員佐藤佳晴及び佐藤二郎を指名する旨提案があり諮ったところ、満場一致により承認された。

ついで下記議案について審議に入った。

1、議題

第1号議案 平成20年度事業報告について

会長片倉俊彦から詳細な説明がされた後、議長はこれを議場に諮ったところ、満場一致異議なく可決承認された。

第2号議案 平成20年度決算報告について

会長片倉俊彦から詳細な説明がされた後、議長はこれを議場に諮ったところ、数値の誤記を指摘され、修正の後再提案、議長は再度議場に諮ったところ、他に意見なく、満場一致可決承認された。

第3号議案 平成20年度監査報告について

監事嶋田峻二から平成20年度監査を、平成21年4月16日に行った結果、各予算の執行は適正に処理されており、預金通帳・領収書・会計帳簿等について正確であるとの報告があり、議長はこれを議場に諮ったところ、満場一致異議なく承認された。

第4号議案 平成21年度事業計画案について

会長片倉俊彦から詳細な説明がされた後、議長はこれを議場に諮ったところ、満場一致異議なく可決承認された。

第5号議案 平成21年度予算案について

会長片倉俊彦から詳細な説明がされた後、議長はこれを議場に諮ったところ、満場一致異議なく可決承認された。

第6号議案 公益法人移行時の定款案について

会長片倉俊彦から現法人は公益法人制度改革関連法の施行に伴い、新に公益法人として認定を受けるためには新定款を作成し申請しなければならないので、移行時の定款案の詳細な説明がなされ、議長はこれを議場に諮ったところ、満場一致異議なく可決承認された。

第7号議案 その他について

会長片倉俊彦から平成20年春の叙勲を受章され、本会に多額の寄付をされた会員持館博志の功績を称え、名誉会員に推戴する旨の提案がされ、議長はこれを議場に諮ったところ、満場一致異議なく可決承認された。

第8号議案 役員改選

選挙管理委員長佐藤靖芳から、平成21・22年度の役員立候補者の報告があり、副会長候補者齋藤康雄

(重任)、同遊佐烈(重任)、理事候補者佐藤政春(重任)、同白川義廣(重任)、同今野英麻呂(重任)、同山田隆弘(重任)、同新里昌一(重任)、同佐藤靖芳(新任)、同佐藤勝美(新任)、同嶋田峻二(新任)、同渡辺和夫(新任)、同菅野和之(新任)、同栗田祐治(新任)、同今野広一(新任)、同渡部育夫(新任)、同堀江常満(新任)、監事候補者高橋宏和(重任)、同片倉俊彦(新任)については、定数を超過していないので、役員選出規程第11条の規定により当選とする。会長候補者鈴木憲二(重任)については、役員選出規程第11条の規程により信任投票が必要であると報告された。

議長は直ちに投票を宣し、投票の結果、出席者全員の信任により当選した。これを受けて全立候補者が就任を承諾した。

以上をもって議案全部の議事を終了したので議長は午後6時25分閉会を宣言し解散した。

上記の決議を明確にするため、議長、議事録署名人及び出席理事代表は次に記名押印する。

平成21年5月16日

社団法人 福島県放射線技師会
 議長 会員 松井 大樹 ㊟
 同 会員 目黒 昭夫 ㊟
 議事録署名人
 会員 佐藤 佳晴 ㊟
 同 会員 佐藤 二郎 ㊟
 出席理事代表
 会長 片倉 俊彦 ㊟

平成21・22年度役員名簿

役職名	氏名	支部	勤務先
会長	鈴木 憲二	県北	
副会長	斎藤 康雄	県南	(財)坪井病院
〃	遊佐 烈	県北	県立医大病院
理事	佐藤 靖芳	県北	大原医療センター
〃	佐藤 政春	県南	町立三春病院
〃	白川 義廣	会津	(財)竹田綜合病院
〃	嶋田 峻二	浜通	南相馬市立綜合病院
〃	今野英麻呂	県北	綜合福島赤十字病院
〃	佐藤 勝美	県北	県立医大病院
〃	渡邊 和夫	県南	(財)太田綜合病院
〃	菅野 和之	県南	ねもとクリニック
〃	山田 隆弘	会津	(財)会津中央病院
〃	栗田 祐治	浜通	公立相馬綜合病院
〃	今野 広一	浜通	綜合磐城共立病院
〃	渡部 育夫	会津	県立会津綜合病院

〃	新里 昌一	県南	(財)太田綜合病院
〃	堀江 常満	浜通	(財)雲雀ヶ丘病院
監事	片倉 俊彦	県北	
〃	高橋 宏和		

第1回理事会開く

役員改選を受けて、第1回理事会が県立医大医学部附属病院放射線部で開かれ、全理事出席のもと新年度の役員分担等を協議した。今回の改選では、理事の半数を超える新人が選ばれたこともあり、各自自己紹介を行った後、予め各支部から提出された委員名簿と、理事の業務分担により別表の通り各委員会の責任者を決めた。

また、昨年度に実施した生活習慣病検診従事者講習会のマンモグラフィ撮影講習会開催に関するアンケートで70名以上の受講希望があったことから、今年度も実施予定で取り組む中で、乳腺撮影装置、シャカステン等の貸与が精度管理中央委員会から示され、新に25万円の負担が生じる見込みとなった。

本会では、受講者の負担増を避けるため、県立医大所有分の他は県内医療施設から貸与を受けるなどして実施する方向で調整することとした。

会費収納状況では、県北、浜通支部の納入率が高く50%前後となったが、県南、会津支部は35%の納入率で支部活動にも影響が考えられる。

委員会役員分担表

精度管理委員会

氏名	支部	勤務先
栗田 祐治	浜通	公立相馬綜合病院
佐藤 靖芳	県北	大原医療センター
渡部 育夫	会津	竹田綜合病院
松井 大機	県北	北福島医療センター
古川 徹	県北	栢記念病院
斎藤 由起	県南	太田西ノ内病院
鈴木 博文	県南	星富久山医院
佐竹 一博	会津	会津中央病院
星 寿郎	会津	坂下厚生綜合病院
池田 昭文	浜通	渡辺病院
比佐 賢一	浜通	福島労災病院

調査委員会

氏名	支部	勤務先
渡邊 和夫	県南	太田西ノ内病院
嶋田 峻二	浜通	南相馬市立綜合病院
佐藤 久光	県北	綜合福島赤十字病院

佐藤 孝広	県北	社会保険二本松病院
山口 大	県南	寿泉堂総合病院
目黒 昭夫	会津	県立会津総合病院
松枝 直宏	会津	竹田総合病院
古川 義一	浜通	かしま病院
船生 晴雄	浜通	松村総合病院

学術委員会

氏名	支部	勤務先
新里 昌一	県南	太田西ノ内病院
白川 義広	会津	竹田総合病院
佐藤 勝美	県北	県立医大附属病院
佐藤 佳晴	県北	公立藤田総合病院
遠藤 浩	県北	済生会福島総合病院
白石 嘉博	県南	星総合病院
田代 和広	県南	白河厚生総合病院
足利 広行	会津	竹田総合病院
工藤 靖之	会津	竹田総合病院
草野 義直	浜通	総合磐城共立病院
中原 直人	浜通	渡辺病院

編集広報委員会

氏名	支部	勤務先
今野英麻呂	県北	総合福島赤十字病院
今野 広一	浜通	総合磐城共立病院
池田 正光	県北	県立医大附属病院
丹治 孝一	県北	福島県保健衛生協会
幕田 節男	県南	厚生連塙厚生病院
本間 妙	県南	総合南東北病院
森谷 辰裕	会津	会津中央病院
原田 博	会津	保健衛生協会会津地区センター
村上 薫	浜通	小野田病院
鈴木 規芳	浜通	呉羽総合病院

ネットワーク委員会

氏名	支部	勤務先
菅野 和之	県南	根本クリニック
山田 隆弘	会津	会津中央病院
遊佐 雅徳	県北	県立医大附属病院
阿部 智	県北	大原総合病院附属医療センター
福田 和也	県南	公立岩瀬病院
鈴木 雅博	会津	竹田総合病院
加藤 陽一	浜通	双葉厚生病院
名城 敦	浜通	総合磐城共立病院

生涯教育委員会

氏名	支部	勤務先
堀江 常満	浜通	雲雀ヶ丘病院
佐藤 政春	県南	町立三春病院

佐藤 孝則	県北	県立医大附属病院
笹木 毅	県北	公立藤田総合病院
飯野 克郎	県南	総合南東北病院
濱端 孝彦	県南	坪井病院
山下 朋廣	会津	竹田総合病院
平塚 幸裕	会津	県立会津総合病院
菅原 正志	浜通	福島労災病院
秋山 淳一	浜通	いわき泌尿器科病院

財務委員会

氏名	支部	勤務先
佐藤 勝美	県北	県立医大附属病院
外山 慎	県北	福島県保健衛生協会
菅野 修一	県南	田村市立都路診療所
星 剛志	会津	入澤病院
花井 辰夫	浜通	南相馬市立病院
阿部 郁明	県北	県立医大附属病院

合同専門委員会開催される

福島県放射線技師会の合同専門委員会が、平成21年6月27日の午後1時から福島テルサで開催された。

全役員、全委員会のメンバーが集まり平成21年度の活動の具体化を協議する毎年恒例の行事であるが、メンバーは大きく入れ替わった委員会開催となった。

**編集後記**

私たちがニュースを担当します。情報をお寄せください。

浜通 (責) 今野 広一 いわき市立総合磐城共立病院

浜通 村上 薫 小野田病院

県北 池田 正光 福島県立医科大学附属病院

県南 本間 妙 総合南東北病院

会津 原田 博 (財) 保健衛生協会会津地区センター